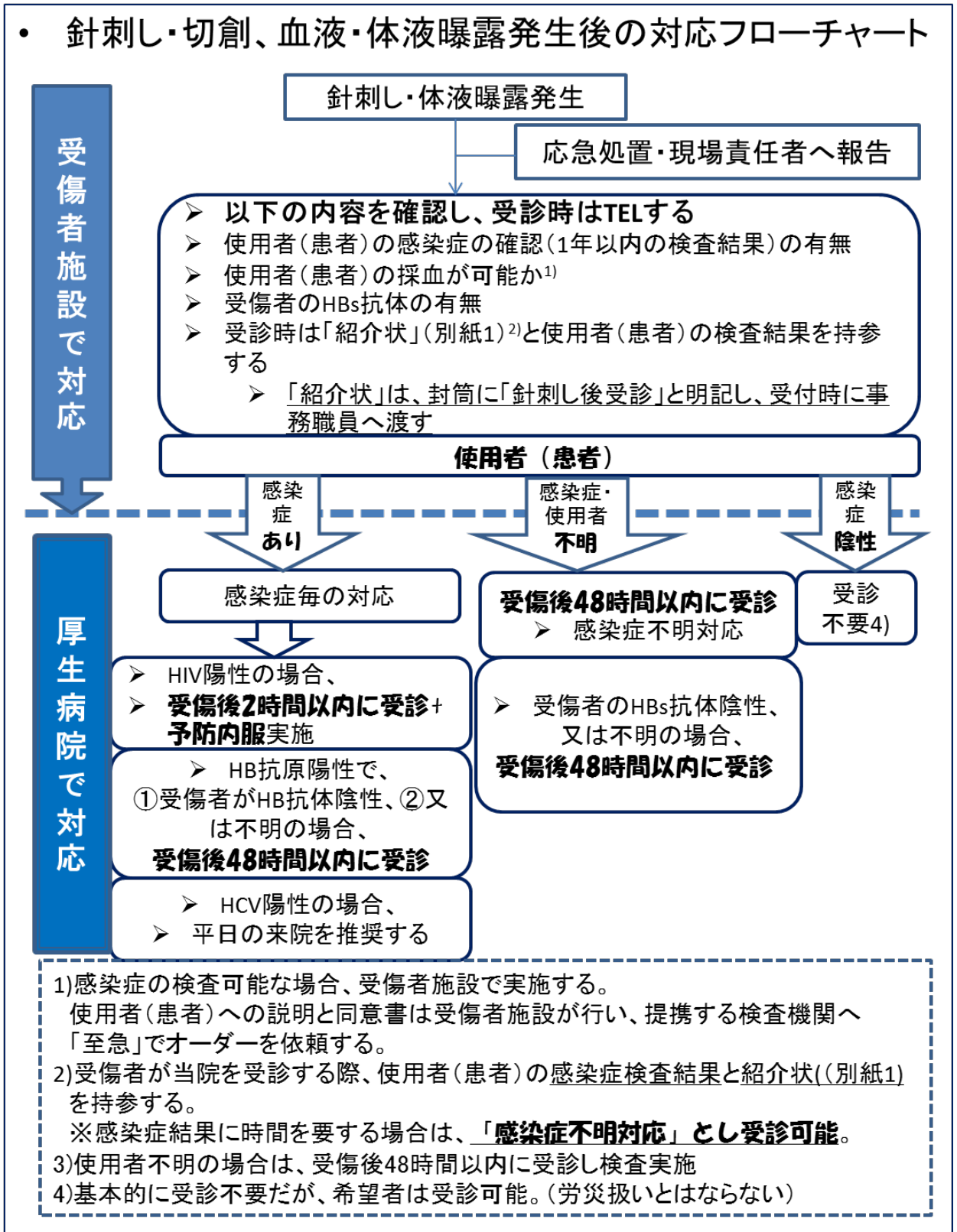


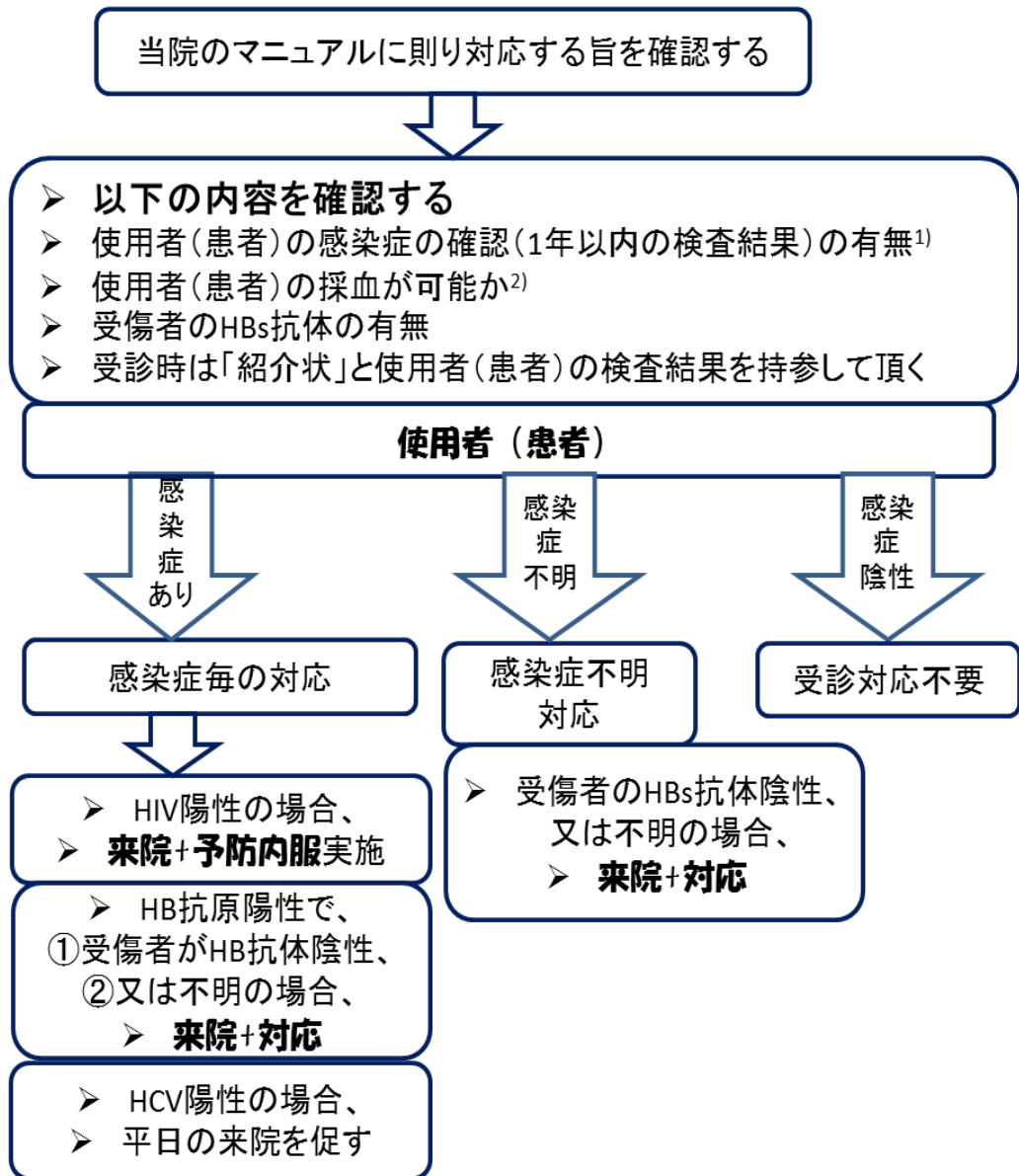
1. 他施設における針刺し・切創、血液・体液曝露発生時の対応

1) フローチャート



2). 当院外来・救急外来に電話相談があった場合

• 針刺し・切創、血液・体液曝露発生後の対応
– TEL相談（当院のマニュアル）



- 1)感染症の検査可能な場合、受傷者施設で実施をして頂く。
使用者(患者)への説明と同意書は受傷者施設が行い、提携する検査機関へ「至急」でオーダーを依頼する。
- 2)受傷者が当院を受診する際、使用者(患者)の感染症検査結果と紹介状(別紙1)を持参する。
※感染症結果に時間を要する場合は、「**感染症不明対応**」とし受診可能。

3). 受傷者が直接来院した場合

• 針刺し・切創、血液・体液曝露発生後の対応
– 直接来院した場合（当院のマニュアル）

当院のマニュアルに則り対応する旨を確認する

- 以下の内容を確認する
- 使用者（患者）の感染症の確認（1年以内の検査結果）の有無¹⁾
- 受傷者のHBs抗体の有無
- 受診時は「紹介状」の有無²⁾

使用者（患者）

感染症あり

感染症毎の対応

- HIV陽性の場合、
➤ **HIV陽性対応**

- HB抗原陽性で、
①受傷者がHB抗体陰性、
②又は不明の場合、**HBV陽性対応**

- HCV陽性の場合、
➤ **HCV対応**

感染症・
使用者
不明

感染症不明
対応

- 受傷者のHBs抗体陰性、
又は不明の場合、
➤ **HbV陽性対応**

感染症
陰性

採血対応不要

- 1)使用者（患者）の感染症が1年以上経過していた場合、又は持参していない場合は、「感染症不明」対応とする。
2)受傷者が「紹介状（別紙1）」を持参しなかった場合、次回受診時又は郵送を依頼する。